



## 2/21

# 八地申第6号 2022年3月 ダイヤ改正に関する団体交渉 開催！

8. 2021年度の波動実績と波動要員を明らかにすること。

9. 準備時間・折返し時間・整理時間がそれぞれ削減されている根拠と内訳について考え方を明らかにすること。

→改正時だけでなく、整理時間や徒歩時間の変更は、労働時間の変更であり本来なら提案事項だ。

→乗務員は様々ルーティンがあり、準備時間の変更は各現場へ注意喚起すべきでは？

10. 実質的に必要な労働時間を確保すると同時に、今後も現場の声をもとに改善していくこと。

→東京等、工事などで乗泊が移動している場合も？

11. ワンマン運転における教育・訓練は、社員の理解度を把握し、社員から要請がある場合はその都度対応すること。

→問題点は色々聞こえてくるので現場の声を聞いてその都度改善していくべきでは？

12. ワンマン運転に関するお客さま周知を十分に行うこと。

13. 八高・川越線ワンマン運転に伴い、安全とサービスの低下させないため、駅と乗務員間の連携について会社の考え方を明らかにすること。

→終電接続など従来車掌が行っていた対応については連絡体制を確立すべきでは？

14. 2020年3月ダイヤ改正等において中央緩行線経由運転を取りやめ、終日快速運転を実施してきた経緯に踏まえて、三鷹駅1番線・2番線の使用の考え方を明らかにすること。

・今年度はコロナ蔓延の影響で臨時列車の運休をしたが、波動要員を減らすものではない。

・30年間乗務員勤務制度を継続してきたが、全支社統一してすべてを再度見直した。

・各現場に協力してもらい調査・整理をした。

・各時分の整理表は提示した。

・了解、各現場へ確認する。

・本部本社間の議論を踏まえ、変化点において随時お知らせしていく。 **↑継続議論**

・乗り継ぎ時の発前準備時間は改正後も何分とは言えないが付けてある。

・乗泊→点呼場は労働が発生していないと判断。

・八高線では1月からお客さまが乗車状態でトライアルのワンマン試運転を行っている。

・大きな問題は発生していない。

・現場の声には耳を傾けていく。

・駅ポスターと自治体には周知をしており、特段問題はない。

・導入に伴い、関係各支社・各駅と意見交換を行っている。

・八王子駅での終電接続等の連絡体制の確立については確認する。 **↑継続議論**

・臨時列車で使用する可能性はある。

・支社としては使用可能との認識だが、現場との認識に差異があれば確認していく。